



2019年2月6日

報道関係者各位

## アートフェア東京2019

百貨店を始め、日本のアートシーンを語る上で欠かせない分野の出展者が集結する  
新セクション「Crossing (クロッシング)」  
各出展者のコンセプト・展示内容と参加アーティストを発表！

日本最大級の国際的なアートの見本市「アートフェア東京 2019」(日程:2019年3月7日~10日、以下「AFT 2019」)の新セクション「Crossing(クロッシング)」の出展者、参加予定作家、出展内容を発表します。東京国際フォーラムのロビーエキシビションエリア(入場無料)で展開します。

### Crossing (クロッシング)

AFT2019 より新設される「Crossing(クロッシング)」は、ギャラリーや美術商だけでなく日本のアートシーンを語る上で欠かせない分野の出展者が集り、それぞれのコンセプトや特徴が交差するセクションです。日本を代表する百貨店 3社が出展し、ストリート・アートによる展示、多様なメディアを用いた展示、伝統技術を使用した現代アートなど、それぞれが全く違ったアプローチで展示を企画しています。日本各地の文化と技術、数百年の伝統を今に伝える工芸団体の展示からは、地域の特色や歴史を現在に引き継ぎながら、これからの日本文化を作り出そうという試みを見出すことができます。また、アウトサイダーアートでは多様なバックグラウンドを持ちながら制作を続けているアーティストや、タレントアーティストによる既成の表現方法にとらわれない作品が展示されます。様々な視点から生まれる表現を体感できるクロッシングは、アートフェア東京 2019 の「顔」となるロビーギャラリーを彩ります。

#### C01 西武・そごう



Meguru Yamaguchi/MOBIUS NO.1/2019/Acrylic and resin on carved wood board/254×137cm

【参加予定作家】

Meguru Yamaguchi / Joshua Vides / Faust

2011年より西武渋谷店では「Art meets Life」というストアコンセプトを掲げ、最先端のファッションはもとより、アートやデザインから暮らしにクリエイティブを発信してきました。今回の「アートフェア東京 2019」では、1980年代より西武が紹介してきたストリートカルチャーにおいて、独自の表現をおこなうアーティスト3人を特集いたします。ストリートカルチャーは、アメリカ現代美術のポップアートやグラフィティアートなどのポストペインティングとも密接な関係にあり、現在のファッション界やアート界で最も注目を集めているジャンルです。今回はカリグラフィーのレジェンド Faust、LA ストリートのニュースタイル Joshua Vides、NYで独自のブラッシュストロークを表現する Meguru Yamaguchi の3名のアーティストをご紹介します。

#### C02 三越



藤崎 了一/Metaball Bound/2019

【参加予定作家】

井上絢子(Ayako Inoue)、内海聖史(Satoshi Uchiumi)、藤崎了一(Ryoichi Ujisaki)、柳田有希子(Yukiko Yanagida)

1907年に三越美術部が創設されてから100年以上が経ちました。わたしたちは百貨店を舞台に、多くの展覧会を開催して参りました。これからの100年は、歴史的背景をリスペクトしながら、カッティングエッジな現代の美術を切り取り、未来への遺産となり得る表現を紹介していきたいと考えています。今回は「PRISM」をテーマに、注目される4名の現代美術家と抽象の可能性を色彩というキーワードから再考します。光を反射し、屈折させるプリズム。さまざまな技法やメディアを用いた、プリズムのような抽象表現をどうぞご高覧ください。

#### C03 studio COOCA



【参加予定作家】

伊藤太郎(Taro Ito)、岩本義夫 (Yoshio Iwamoto)、高原智哉(Tomoya Takahara)、横溝さやか(Sayaka Yokomizo)他

studio COOCAはハンディキャップを持つ人がその人の好きなことや得意なことで活躍する福祉施設/アトリエです。伊藤太郎の海洋生物繁栄への祈りのこもったコラージュとクマデ、岩本義夫の年々鼻が高くなる金髪の女性シリーズ、横溝さやかのストーリーに溢れる細密な世界、そして高原智哉の愛嬌いっぱいの振る舞い。アートと呼ぶにほかならない、彼らのこだわりから生まれる作品たちを発表致します。

岩本 義夫 / 金髪のおねえちゃん / 2018 / アクリル、紙 / H420×W297

一般社団法人アート東京 広報担当：島田/岸本

〒106-0041 東京都港区麻布台 1-9-12 飯倉台ビル4階

TEL: +81-(0)3-5797-7912 / FAX: +81-(0)3-5797-7913 / E-MAIL: [press@artfairtokyo.com](mailto:press@artfairtokyo.com)



## C04 株式会社よしもとアートエンタテインメント



株式会社よしもとアートエンタテインメント（以下 YAE）は吉本興業が培ってきたエンターテインメント業界でのノウハウと、アート業界をうまくクロスオーバーさせるプラットフォームとなることを目指し、2018 年設立されました。アーティストのマネジメント・エージェンツ業務を軸に、アートイベントのオーガナイズなど、外部機関や有識者と連携しながら、様々なアートコンテンツや場を生み出していく体制を構築します。2019 年 1 月には大阪なんばに「LAUGH & PEACE ART GALLERY」をアート芸人、アーティストの発信基地として機能させるべくオープン。月替わりで様々な展示イベントを開催しています。今回のアートフェア東京 2019 では YAE の活動内容の紹介及びアート芸人、所属アーティストの作品展示を行います。

レイザーラモン HG/レイザーラモン HG

【参加予定作家】

レイザーラモン HG (Razor Ramon HG)、佐久間一行 (Kazuyuki Sakuma)、天竺鼠川原克己 (Tenjikunezumi Katsumi Kawahara)

## C05 金沢クラフトビジネス創造機構



当機構は、金沢の工芸・クラフトのビジネス化を推進するために、金沢市により創設されました。今回の展示では、金沢にゆかりのある工芸作家 33 名を紹介し、作家はそれぞれ、大切なものをしまう「玉箱」をテーマに工芸作品を制作しました。生活習慣が多様化する現代において、伝統的な工芸技法である漆、陶芸、金工、染織、ガラス、木工を用い、高度な技術によってつくられた個々の作品は、日本らしい今日の美術の姿形を写し出します。

十一代 大樋長左衛門/大樋窯変玉箱/2018 /陶土/H15.3XW23.1XD20.4

【参加予定作家】

東日出夫 (AZUMA Hideo)、池田晃将 (IKEDA Terumasa)、黒木紗世 (KUROKI Sayo)、中田真裕 (NAKATA Mayu)、田中若葉 (ANAKA Wakaba)、藤野征一郎 (FUJINO Seiichiro)、藤原 愛 (FUJIHARA Chika)、松本由衣 (MATSUMOTO Yui)、山村慎哉 (YAMAMURA Shinya)、吉田まゆ (YOSHIDA Mayu)、十一代 大樋長左衛門 (OHI Chozaemon XI)、内山真由美 (UCHIYAMA Mayumi)、上端伸也 (KAMBATA Shinya)、齋藤まゆ (SAITO Mayu)、半田濃史 (HANDA Atsushi)、浦中廣太郎 (URANAKA Kotarou)、木瀬浩詞 (KISE Hiroshi)、坂井直樹 (SAKAI Naoki)、安達大悟 (ADACHI Daigo)、川本敦久 (KAWAMOTO Nobuhisa)、北村紗希 (KITAMURA Saki)、安井未星 (YASUI Miboshi)、坂井ゆかな (SAKAI Yukana)、佐々木 類 (SASAKI Rui)、田 聡美 (DEN Satomi)、中野雄次 (NAKANO Yuji)、松田苑子 (MATSUDA Sonoko)、福嶋剛夫 (FUKUSHIMA Norio)、角間泰憲 (KAKUMA Yasunori)、李 一烈 (イ・イルヨル/LEE Ilryul)、金 至児 (キム・ジア/KIM Jeeah)、張 多然 (ジャン・ダヨン/Jang Dayeon)、楊 玉婷 (ヤン・ユーチン/YANG Yuting)

## C06 金沢市工芸協会



金沢市工芸協会は、1925 年(大正 14 年)に「金沢市意匠図案研究会」として発足し、90 年にわたり伝統の継承と、工芸の発展に寄与してきました。金沢市工芸展の開催や、国内外の作り手との交流など幅広く活動しています。

今回のアートフェア東京では、当会に所属する作家をセレクトし、文化勲章受章者や人間国宝の重鎮作家による圧倒的な工芸技術から、新進気鋭の若手作家による革新的な美術表現まで、金沢の美術工芸の質の高さと多様性をもつ作品をご紹介します。

十一代大樋長左衛門/大樋輪軸窯変茶盃/2018 /陶土/φ15.6×11.0 cm

【参加予定作家】

大樋陶治齋 (Ohi Toyasai(Chozaemon X))、十一代大樋長左衛門 (11th.Ohi Chozaemon(Toshio))、中川衛 (Nakagawa Mamoru)、魚住為楽 (Uozumi Iraku)、坂井直樹 (Naoki Sakai) ほか

## C07 金沢卯辰山工芸工房



金沢卯辰山工芸工房では、金沢の伝統工芸の技術継承と発展を目的とし、工芸振興に寄与する人材を育成しています。陶芸・漆芸・染・金工・ガラスの 5 つの工房からなり、技術研修者たちは、研修と自由な造形活動を通じて、高度な工芸技術と優れた造形感覚を養い、日本国内をはじめ世界に向けて工芸の可能性を発信しています。アートフェア東京への出展は今回で 6 回目、アートの世界へ挑戦する「工芸」への注目は年々高まっています。当工房からは選抜の 10 名が出品します。素材と対話する若き作り手たちの感性と、表現の多様性をご覧ください。

左上: 鶴飼 康平/UKAI Kohei/融 18-01/vestige 18-01/2018/楠、漆/17×93×29cm  
左下: 仲村 葵/NAKAMURA Aoi/艶/Sway with the wind/2018/銅、真鍮、銀鍮金、アルミ粉、ブロンズ粉/10.0×37.0×17.5cm  
右: 織田 隼生/ODA Toshiaki/A quale/A quale/2018/ステンレス、溶接棒/30×42×42cm

【参加予定作家】

田中陽子 (TANAKA Yoko)、釣 光穂 (TSURI Mitsuho)、張 多然 (JANG Dayeon)、鶴飼康平 (UKAI Kohei)、府坂 杏 (FUWA Anzu)、三尾瑠璃 (MITSUO Ruri)、織田隼生 (ODA Tshiki)、仲村 葵 (NAKAMURA Aoi)、菅野有紀子 (SUGANO Yukiko)、米津真理奈 (YONETSU Marina)



## C08 Artglorieux GALLERY OF TOKYO



当ギャラリーは2017年4月、GINZA SIXの5階にオープンした、(株)大丸松坂屋百貨店が運営するギャラリーです。ギャラリーでは1~2週間ごとに企画展を開催しています。アートフェア東京では、月をテーマに制作する裕人礫翔を紹介いたします。京都 西陣に伝わる箔技術をもちいて生み出される作品は、日本の伝統文化を感じさせるとともに、太古からの自然の摂理や生命の力といった普遍的なテーマを内包し、日本人のみならず海外からのお客様にも直感的に理解していただける現代アートです。

2017年「一期一会 裕人礫翔 箔+アートの世界」展示風景

【参加予定作家】

裕人礫翔(Hiroto Rakusho)

## C09 T.A.G. Gallery



アートフェア東京2019の展示は富山ゆかりの作家を対象に行われたコンペを経て選抜されたブースです。既に活躍している作家は勿論、これから活躍するであろう作家達からもバランス良く選考された魅力溢れる作家達で構成されております。富山市、協賛企業、美術商が連携して富山ゆかりの作家が国内外で発表出来る場を提供し販売まで繋げる為の企画です。2011年からの8年間は日本国内のみの支援活動でしたが2019年からは国外へも販路を広げ富山ゆかりの作家達が大きな“夢”、“希望”を持って制作活動出来る為に支援する国際事業へと進化させた取組みです。

小寺 暁洋/KOTERA Akihiro/罎/you/2018 /ガラス・金箔/15cm × 30cm × 30cm

【参加予定作家】

小寺暁洋 (KOTERA Akihiro)、小曾川瑠那 (KOSOGAWA Runa)、松藤孝一 (MATSUFUJI Koichi)、小宮 崇 (KOMIYA Takashi)、宮本崇輝 (MIYAMOTO Takaki)、岸本耕平(KISHIMOTO Kohei)、佐々木 光(SASAKI Hikari)、佐々木 伸佳(SASAKI Nobuyoshi)、牧田恵実(MAKIDA Emi)、平井千香子(HIRAI Chikako)、清河北斗(KIYOKAWA Hokuto)

## P10 香川県漆芸研究所



香川県漆芸研究所は、彫漆(ちょうしつ)、蒔罎(きんま)、存清(ぞんせい)など香川県の伝統的な漆芸技法を伝承し、後継者の育成と技術の向上を目的として、昭和29(1954)年、全国に先駆けて設置されました。これまでに修了生は400名を超え、その多くは漆芸作家や漆工技術者として活躍しています。研究所は、研究生と研究員の2課程制で、デザイン、造形等の基礎科目と、素地制作から塗り、加飾に至る漆芸技術全般を習得します。この研究所の最大の魅力は、漆芸技術のみならず造形や色彩感覚、そして漆芸に対する姿勢などを、人間国宝などの講師陣から、総合的に直接、学ぶことができる点にあります。出展予定アーティストの安藤源一郎(平成16修了)、神垣夏子(平成22修了)はいずれも研究所の修了生で、日本伝統工芸展で日本工芸会新人賞を受賞しています。安藤源一郎は手漉きの和紙と漆で器を作る紙胎(したい)、神垣夏子は竹ヒゴで籠状に編んだ器の籃胎(らんたい)に特徴があります。いずれも現代的で清新な感覚で蒔罎(きんま)の技法で模様で装飾して箱や盆、茶器やオブジェを制作しています。

神垣夏子/籃胎蒔罎箱「川霧」/2018 /漆、竹/縦13×横26×高10

KAMIGAKI, Natsuko/River Mist/2018 /Lacquer ware, Bamboo/W13×D26×H10

安藤源一郎/紙胎蒔罎風箱合子/2017/漆、紙/径24.1×高8.3

ANDO, Genichiro/Covered box with "Sound of wind" design/2017/Lacquer ware, Paper

【参加予定作家】

安藤源一郎(ANDO Genichiro)、神垣夏子(KAMIGAKI Natsuko)

### アートフェア東京(AFT)とは

アートフェア東京は、毎年春に東京で開催されている国内最大級の国際的なアート見本市。国内外の厳選されたギャラリーが出展し、古美術・工芸から、日本画・近代美術・現代アートまで、幅広いジャンルの作品が展示・販売される。会期中は、歴史に紐づいた日本のアートを発信するだけでなく、東京のアートシーンやマーケットの“今”を伝える企画展示、関連するシンポジウムやパーティーを都内各所で開催する。国際的で多様なアートマーケットのプラットフォームであるアートフェア東京は、アートファンやアート関係者のみならず、各国大使、行政関係者、経済界の主要な人々の情報交換・社交の場として、多くの来場者が訪れる。(2018年実績:60,026人)



## アートフェア東京 2019 開催概要

主催：一般社団法人 アート東京、テレビ東京、BSテレビ東京、イープラス  
企画内容：国内外コマースギャラリーによる美術品の展示及び販売  
開催日程：2019年3月7日(木)～3月10日(日)4日間 (最終入場は各日終了30分前)

プレスビュー	3月7日(木)	13:00-14:00
プライベートビュー	3月7日(木)	14:00-16:00
ベルニサージュ	3月7日(木)	16:00-20:00
パブリックビュー	3月8日(金)	11:00-20:00
	3月9日(土)	11:00-20:00
	3月10日(日)	11:00-17:00

※時間は全て予定

会場：東京国際フォーラム・ホールE(東京都千代田区丸の内3-5-1) JR・地下鉄 有楽町駅徒歩約1分/JR東京駅(京葉線)徒歩約5分

入場料：前売券 / 1DAYパスポート 4,000円(税込)  
当日券 / 1DAYパスポート 5,000円(税込)(小学生以下は、大人同伴の場合に限り入場無料)

後援	内閣府	外務省	経済産業省	厚生労働省	文化庁	観光庁
	アフガニスタン・イスラム共和国大使館	アルゼンチン共和国大使館	アルメニア共和国大使館	バーレーン王国大使館	ベルギー王国大使館	ベリーズ大使館
	ベナン共和国大使館	ボリビア多民族国大使館	ボスニア・ヘルツェゴビナ大使館	ボツワナ共和国大使館	ブラジル大使館	ブリティッシュ・カウンシル
	ブルネイ・ダルサラーム国大使館	ブルガリア共和国大使館	ブルキナファソ大使館	在日カンボジア王国大使館	カメルーン共和国大使館	チリ共和国大使館
	中華人民共和国駐日本国大使館	コロンビア共和国大使館	クロアチア共和国大使館	キューバ共和国大使館	チェコ共和国大使館	デンマーク大使館
	ジブチ共和国大使館	ドミニカ共和国大使館	コンゴ民主共和国大使館	エジプト・アラブ共和国大使館	エルサルバドル共和国大使館	エリトリア国大使館
	フィジー共和国大使館	フィンランド大使館、東京/フィンランドセンター	フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本	ヴィラ九条山	ドイツ連邦共和国大使館	
	日本赤十字社					

北海道、群馬県、京都府、奈良県、香川県、富山市、金沢市、岐阜市、京都市  
日本経済新聞社、毎日新聞社、文化放送、TBSラジオ

協賛：寺田倉庫、株式会社モリモト、ザ・ペニンシュラ東京、住友不動産株式会社

特別協力：MHD モエ ヘネシー ディアジオ株式会社

オフィシャルファニチャー：株式会社イロコデザインジャパン

協力：株式会社 羽田未来総合研究所、株式会社 寺岡精工、瀬祭、ミネベアミツミ株式会社、アークヒルズクラブ、六本木ヒルズクラブ

企画協力：株式会社八紘美術

特別協力美術館：出光美術館、エスパス ルイ・ヴィトン東京、群馬県立近代美術館、国立新美術館、サントリー美術館、東京オペラシティ アートギャラリー、東京国立近代美術館、東京都現代美術館、東京都美術館、戸栗美術館、原美術館、ポーラ美術館、三菱一号館美術館、森美術館、横浜美術館

パートナーイベント：ART in PARK HOTEL TOKYO 2019/3331 アートフェア 2019/Asian Art Award supported by Warehouse TERRADA

ホームページ：<http://artfairtokyo.com>

問い合わせ：一般社団法人 アート東京 〒106-0041 東京都港区麻布台 1-9-12 飯倉台ビル4階  
Tel.03-5797-7912/Fax.03-5797-7913/E-mail: info@artfairtokyo.com

一般社団法人アート東京 広報担当：島田/岸本

〒106-0041 東京都港区麻布台 1-9-12 飯倉台ビル4階

TEL: +81-(0)3-5797-7912 / FAX: +81-(0)3-5797-7913 / E-MAIL: [press@artfairtokyo.com](mailto:press@artfairtokyo.com)